

赤尾FCタイムズ



発効日：7月1日 発行人：赤尾ファミリークリニック

「子どもがかかりやすい 夏風邪の症状と対策について」

冬にひく風邪に対し、**夏にひくものを夏風邪と呼んでいます。**

夏風邪はほとんどの場合、
アデノウイルス・エンテロウイルス・コクサッキーウイルスなどの、
ウイルスが原因で発症します。

冬にひく風邪とは、原因が大きく異なってきます。
また子供は大人に比べて抵抗力が弱いので、
症状が急変することもあるので注意が必要です。

季節の変わり目にひく風邪の場合、咳や鼻水が出て、
その後発熱するというのが通常の場合の経過です。

しかし、夏風邪やインフルエンザは、急な発熱から始まるという特徴があります。

少しでも何か気になることがありましたら、すぐにご相談に来てくださいね。



コラム

7月は花火大会が沢山行われますね。
『広島みなと夢花火大会』『宮島水中花火大会』など沢山の花火大会があります。

7月は楽しいことが多い時期なので、体調に気をつけて、毎日を過ごしてください。

ご質問にお答えします

Q.冷たい物を食べ過ぎると、
下痢になるのは、何故ですか？

胃や腸を冷やしてしまうと血液の循環が悪くなり、胃腸の抵抗力は落ちてしまいます。

これは弱った胃腸で繁殖しやすいウイルスや細菌にとって、絶好のチャンスなのです。

体が冷えないように空調や衣類で体温調節を行ったり、冷たいものを食べ過ぎないようにしましょう。



お知らせ 「ホームページから予約できます」

お電話受付時間 月曜～土曜の9：00～11：45 / 14：45～17：45
(水曜日：11：45終了 土曜日16：45終了)

ホームページの「診療予約」をクリックしインターネット予約番号をとってください。



「水いぼがあるとプールに入れませんか？」

「水いぼ」とは、正式には伝染性軟属腫（でんせんせいなんぞくしゅ）と呼ばれる、ボックスウイルスが原因の病気です。

小学校低学年ぐらいまでのデリケートなお子さんに多い疾患で、子どもの四肢や体幹に肌色のちいさなポツポツができ、増えていきます。

症状としては、かゆみと小さな水ぶくれの湿疹が特徴です。光沢のある、真珠のような白からピンク色の2～5mm程度の湿疹がでてきます。

水いぼを引っかいてしまうと、ウイルスのかたまりである滲出液が他の皮膚につき、ウイルスが繁殖して、同じような水ぶくれができてしまいます。

しかし、水いぼができていても、プールに入ることは問題ありません。ただし、学校や園によってルールがあるので、そちらは必ず確認をしてください。

水いぼが感染するのはプールの水の中ではなく、プールでの接触が原因です。ふざけて抱きあったりすることで、水いぼが潰れることで感染することがあります。

そして直接、水いぼに感染している人に接触しなくても、水いぼがつぶれ、滲出液がビート板についていると、そのビート板を使った人が感染してしまうことがありますので、早めに取り除くことをおすすめします。

夏休み前の準備を大切に

7月になりましたね。
2016年も、もう半分が終わってしまったのかと思うと、
時が経つのは早いものだなあと感じます。

夏休みを前に、手足口病、咽頭結膜熱（プール熱）、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、おたふくかぜなどの、夏の感染症が増えてきています。

子供の病気は**大人がかかると重症化する傾向にあるので、注意が必要です。**

猛暑が続きますので、熱中症にも充分注意してください。

小学生は、夏休みの計画表が配布され始める頃だと思います。
楽しい夏休みを過ごすためにも、今のうちから早寝早起きの習慣や、
手洗い、うがいを行い、病気を未然に防いでいきましょう。

何か気になることがございましたら、お気軽にご相談ください

